

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4613		
科目名	危機管理特殊研究 3		
担当教員	茂田 忠良		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 3		
講義室	1004	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	<p>■ DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J [創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>DP7-L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。</p> <p>DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■ CRコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連</p> <p>E1 学識と専門技能 (10%) F1 探求と論拠 (20%) I1 理解・分析と読解 (10%) J1 継続的学修基盤 (10%) K1 ライティング・コミュニケーション (10%) K2 オーラル・コミュニケーション (15%) L1 チームワーク (15%) M1 統合的・応用的学修 (10%)</p>		
教員の実務経験	<p>警察庁採用 I 種（現総合職）職員として34年余の警察官や公務員としての実務経験を有し、その中で、県警察本部長などの立場で様々な危機的状況、謂わば「修羅場」を経験してきました。そこで、警察官を職業の選択肢としている学生を念頭に、体験を踏まえて、危機的状況における対処で最も重要な「即座の判断力」を養成するべく、教授します。（第2、3、14回）</p>		
成績ターゲット区分	<p>■ 成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期 ～ 4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な</p>		

	<p>業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、各自の研究テーマに基づいて立てた研究計画や、プレゼンテーションに対して研究指導を行います。</p> <p>授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ型及びオンデマンド型）を取り入れます。</p> <p>■キーワード： 危機対処、日本、米国、世界</p>						
<p>授業の趣旨</p>	<p>■ 副題 警察官ほか日本人として必要な「人間の軸」づくり ～日本と世界（特に米国）を理解する～</p> <p>■ 授業の目的 警察という危機管理業務に従事するに当たり必要とする危機管理及び警察業務に関連する幅広い知識と教養を養う。同時に、読解力、作文力、会議での発言力を身に付ける。</p> <p>■ 授業のポイント 危機管理や警察活動にとって重要な日本と世界に対する基本認識に関連するDVDの視聴や配布資料の読み込みを行い、討論する。</p>						
<p>総合到達目標</p>	<p>■ 危機対処及び警察業務に必要な幅広い知識と教養を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア独立戦争とベトナム独立戦争に対する日本兵の貢献を理解して、危機対処に有用な日本人の美質を説明できるようになる。 ・ 第二次世界大戦の際における在米日系人の行動に見る価値観・精神の探究を通して、日本人の価値観と美質を論ずることができるようになる。 ・ 東京裁判における東条英機の行動を通じて、危機的状況で人を支える価値観について説明できるようになる。 ・ 日本にとって死活的に重要な国である米国の社会体質（人種差別、愛国主義、民主主義など）を説明できるようになる。 <p>■ 会議での発言力、読書力、作文力を身に付ける。</p>						
<p>成績評価方法</p>	<p>■ レポート1回（30%）：適用ルーブリックE1・F1・J1・I1・K1・M1 （評価の観点）DVD視聴や配布資料の読み込みを基に、論理的で明晰な文章が書けているか、を評価します。 （フィードバック方法）添削して返還します。</p> <p>■ 授業参加度（発言等）（70%）：適用ルーブリックE1・F1・I1・J1・K2・L1・M1 （評価の観点）DVD視聴や配布資料の読み込みを前提に、自分の意見を積極的・論理的に発言出来ているか、を評価します。また、レポート非提出回は短文（感想文）の事前提出を求め、演習準備の状態を確認します。 （フィードバック方法）授業のその場で、フィードバックします。</p>						
<p>履修条件</p>	<p>特にありません。</p>						
<p>履修上の注意点</p>							
<p>授業内容</p>	<p>各回の演習の実際については、研究生の能力、要望、研究の進捗等を勘案して、柔軟に対応します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1417 1487 2157"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1417 512 1462">回</th> <th data-bbox="512 1417 1487 1462">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1462 512 1832">1</td> <td data-bbox="512 1462 1487 1832"> <p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 本年度の学修方向について、研究生それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、評価方法について説明します。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本年度に本研究で何を学修するかを考える。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1832 512 2157">2</td> <td data-bbox="512 1832 1487 2157"> <p>①授業テーマ 『イスラエル事情』</p> <p>②授業内容 担当教員の実務経験（イスラエル駐在）を踏まえて、イスラエルという国家の価値観や特徴について討議する。イスラエルは究極の危機管理国家とも言われるが、研究生は、ユダヤ人の建国したイスラエルという国家を理解することによって、世界の多様性について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 担当教員の作成する『イスラエル事情』についての講義動画を事前に視聴して、イスラエルとユダヤ人について考察しておく。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 本年度の学修方向について、研究生それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、評価方法について説明します。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本年度に本研究で何を学修するかを考える。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をまとめる。</p>	2	<p>①授業テーマ 『イスラエル事情』</p> <p>②授業内容 担当教員の実務経験（イスラエル駐在）を踏まえて、イスラエルという国家の価値観や特徴について討議する。イスラエルは究極の危機管理国家とも言われるが、研究生は、ユダヤ人の建国したイスラエルという国家を理解することによって、世界の多様性について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 担当教員の作成する『イスラエル事情』についての講義動画を事前に視聴して、イスラエルとユダヤ人について考察しておく。</p>
回	内容						
1	<p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 本年度の学修方向について、研究生それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、評価方法について説明します。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 本年度に本研究で何を学修するかを考える。</p> <p>④復習（30分） 授業を振り返り、授業の内、自分で重要であると考えポイントとこれに対する自分の感想をまとめる。</p>						
2	<p>①授業テーマ 『イスラエル事情』</p> <p>②授業内容 担当教員の実務経験（イスラエル駐在）を踏まえて、イスラエルという国家の価値観や特徴について討議する。イスラエルは究極の危機管理国家とも言われるが、研究生は、ユダヤ人の建国したイスラエルという国家を理解することによって、世界の多様性について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 担当教員の作成する『イスラエル事情』についての講義動画を事前に視聴して、イスラエルとユダヤ人について考察しておく。</p>						

	<p>④復習（120分） 授業を振り返り、その世界観や外交国防政策において日本の対極にあるイスラエルという国について、考察を深める。</p>
3	<p>①授業テーマ インドネシア独立戦争と日本兵（1）</p> <p>②授業内容 DVD『ムルデカ』前半と教員の解説を基に、インドネシア独立戦争について討議する。インドネシア独立戦争における日本兵の役割について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 担当教員の実務経験（インドネシア訪問）を踏まえて解説します。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、インドネシア独立戦争に参加した旧日本兵の価値観・精神について考察を深める。</p>
4	<p>①授業テーマ インドネシア独立戦争と日本兵（2）</p> <p>②授業内容 DVD『ムルデカ』後半と教員の解説を基に、インドネシア独立戦争とベトナム独立について討議する。インドネシア独立戦争とベトナム独立戦争における日本兵の役割について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD『ムルデカ』後半を視聴する。また、ベトナム独立戦争における日本兵の役割について、事前配布資料を読んでおく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、インドネシア独立戦争やベトナム独立戦争に参加した旧日本兵の価値観・精神について考察を深める。</p>
5	<p>①授業テーマ 『ゲティスバーグ演説』と『西郷南洲翁遺訓』『出水兵児修養掟』を読む</p> <p>②授業内容 民主主義の本質を表現したとリンカーン『ゲティスバーグ演説』を分析し、近代民主主義国家・米国の精神を説明できるようになる。また、『西郷南洲翁遺訓』（抜粋）と『出水兵児修養掟』を分析して、危機対処において有益な教訓を説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） リンカーン『ゲティスバーグ演説』と『西郷南洲翁遺訓』（抜粋）『出水兵児修養掟』を読んでおく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、『ゲティスバーグ演説』に表明された近代民主主義国家・米国の精神、及び『西郷南洲翁遺訓』（抜粋）『出水兵児修養掟』に見る武士道の精神について考察を深める。</p>
6	<p>①授業テーマ 日系米国人の強制収容（1）</p> <p>②授業内容 DVD『東洋宮武が覗いた時代』前半と教員の解説と基に、第二次世界大戦中における米国での日系人強制収容について討議する。米国において日系人が置かれた状況、米国社会の美質と人種差別体質について、説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD前半を視聴した上で、第二次世界大戦中の米国における日本人及び日系人の強制収容についてについて考えておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、米国において日系人が置かれた状況、米国社会の美質と人種差別体質について更に考察を深める。</p>
7	<p>①授業テーマ 日系米国人の強制収容（2）</p> <p>②授業内容 DVD『東洋宮武が覗いた時代』後半と教員の解説と基に、第二次世界大戦中における米国での日系人強制収容について討議する。更に、米国の忠誠宣言を分析し、近代民主主義国家における国民の義務について、説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分）</p>

	<p>教員の解説とDVD後半を視聴した上で、第二次世界大戦中の米国における日本人及び日系人の強制収用及び米国の忠誠宣言についてについて考えておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、近代民主主義国家における国民の義務について考察を深める。</p>
8	<p>①授業テーマ 『442日系部隊』日系人戦闘部隊（1）</p> <p>②授業内容 日系米国人で構成された「100大隊/442連隊戦闘団」について討議する。米国という人種差別社会と戦場において、442連隊の日系人を支えた価値観・精神について、説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD『442日系部隊』前半を視聴した上で、日系人の価値観や精神を考えておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、米国という人種差別社会と戦場において、442連隊の日系人を支えた価値観・</p>
9	<p>①授業テーマ 『442日系部隊』日系人戦闘部隊（2）</p> <p>②授業内容 日系米国人で構成された「100大隊/442連隊戦闘団」について討議する。日系米国人の価値観・精神の理解を基礎に、日本人の価値観・精神について、説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（240分） 教員の解説とDVD後半を視聴した上で、日本人の価値観や精神について考えておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、米国という人種差別社会と戦場において、442連隊の日系人を支えた価値観・精神について更に考察を深める。</p>
10	<p>①授業テーマ 沖縄戦と太田實中将『沖縄県民斯く戦へり』</p> <p>②授業内容 太田實中将『沖縄県民斯く戦へり』を材料に、沖縄戦の悲惨さとそれが戦局と和平に及ぼした影響について考察し、説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 沖縄戦の実情、日米の死傷者・損害について、調べておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、沖縄戦の意味について考察を深める。</p>
11	<p>①授業テーマ 『二つの祖国で』日系人情報部隊（1）</p> <p>②授業内容 米国陸軍日系人による情報部隊について討議する。陸軍情報部隊の日系人を支えた価値観、また、彼らが故国の日本人の間に発見した日本人の価値観・精神について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD『二つの祖国で』前半を視聴した上で、米陸軍情報部隊の日系人を支えた価値観について考えておく。</p> <p>④復習120分） 授業を振り返り、米国社会の人種差別と戦場において、日系人を支えた価値観・精神について考察を深める。</p>
12	<p>①授業テーマ 『二つの祖国で』日系人情報部隊（2）</p> <p>②授業内容 米国陸軍日系人による情報部隊について討議する。陸軍情報部隊の日系人を支えた価値観、また、彼らが故国の日本人の間に見た日本人の価値観・精神について説明できるようになる。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD『二つの祖国で』後半を視聴した上で、米陸軍情報部隊の日系人を支えた価値観について考えておく。また、日系人ハリー・フクハラ氏に関する配布資料を読んでおく。</p> <p>④復習120分） 授業を振り返り、日系米国人を支えた価値観・精神、日系米国人が見た日本人の価値観・精神について考察を深める。</p>

	<p>13 ①授業テーマ 『プライド』東京裁判（1）</p> <p>②授業内容 東京裁判と東条英機の対応について討議する。東京裁判の基本的性格について説明できるようにする。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD『プライド』前半を視聴した上で、東京裁判の性格について考えておく。また、インド独立、インド国民軍、インパール作戦、チャンドラ・ボース、ラダビノット・パールについて、インターネット等で調べておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、東京裁判の意義について考察を深める。</p> <p>14 ①授業テーマ 『プライド』東京裁判（2）</p> <p>②授業内容 東京裁判と東条英機の対応について討議する。東京裁判において朗読に3日を要する宣誓供述書を書いた東条英機を支えた価値観について、説明できるようにする。（E1・F1・I1・J1・K2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、死刑判決確定という究極の危機に直面した東条英機を支えた価値観について説明します。</p> <p>③予習（120分） 教員の解説とDVD『プライド』前半を視聴した上で、東条英機という人物について考えておく。</p> <p>④復習（120分） 授業を振り返り、危機的状況で人を最も支えるものについて考察を深める。</p> <p>15 ①授業テーマ 研究方法の検討</p> <p>②授業概要 これまでの授業を踏まえ、今後の研究方法について、各自が報告し、研究生全員で検討を行う。（E1・F1・I1・J1・K1・K2・L1・M1）</p> <p>③予習（210分） 今期の授業を総括し、自分は何を学んだかについてレポートを作成提出する。</p> <p>④復習（30分） 授業を踏まえ、研究方法に関し再度検討を行う。</p>
関連科目	<p>危機管理基礎演習Ⅱ（RMGT2602）・危機管理特殊研究1（RMGT4541）・危機管理特殊研究2（RMGT4542）・危機管理特殊研究4（RMGT4544）</p> <p>危機対処に有益な世界観を知るために、インテリジェンス論1（RMGT3527）・インテリジェンス論2（RMGT3534）とも関連します。</p>
教科書	
参考書・参考URL	<p>（下記の教科書は、図書館に収蔵されている。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずきじゅんいち著『1941 日系アメリカ人と大和魂』（文藝春秋、2012年） ・東條由布子編『大東亜戦争の真実』（東条英機の宣誓供述書）（ワック株式会社、2005年）
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 水曜3限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	<ul style="list-style-type: none"> ■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ70%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10% ■ 危機管理と法学のバランス 危機管理学95%；法学5%

